

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

a を 1 でない正の定数とすると、 a を底とする x の指数関数

$$f(x) = a^x$$

の導関数を求めたい。いま、 x が $x+h$ まで変化したときの $f(x) = a^x$ の平均変化率を指数法則を用いて変形すると

$$\frac{f(x+h) - f(x)}{h} = \frac{a^{x+h} - a^x}{h} = \frac{a^x a^h - a^x}{h} = \frac{a^x(a^h - 1)}{h} = a^x \cdot \frac{a^h - 1}{h}$$

となる。したがって

$$(1) f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = a^x \cdot \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{h}$$

が得られる。ここで、極限

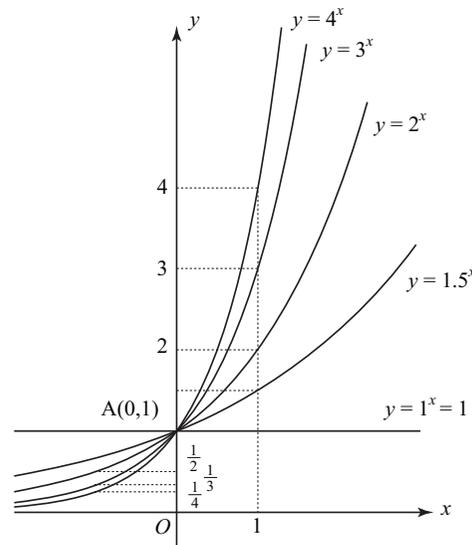
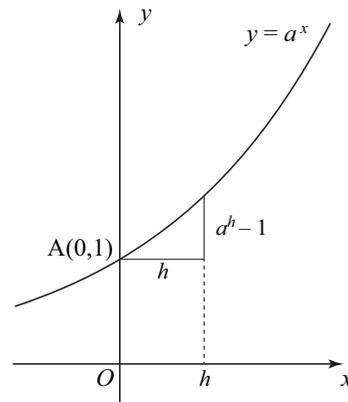
$$(2) \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{h}$$

は $f'(0) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^{0+h} - a^0}{h}$ に等しく、曲線 $y = a^x$ の上の点 $A(0, 1)$ における接線の傾きにほかならない。いま、それを m_a で表すことにすれば、(??) から

$$(3) f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h} = a^x \cdot m_a$$

が導かれ、 $m_a = f'(0)$ がわかれば $f'(x)$ が計算できたことになる。

そこで、極限 (??) の値がどのようなになるかを考える。右の図を見ると、曲線 $y = a^x$ の上の点 $A(0, 1)$ における接線の傾き m_a は、 a が大きくなるほど大きくなることわかる。そこで実験として $a = 2$ と $a = 3$ のときに $\frac{a^h - 1}{h}$ の値の数値計算をしてみよう。スマートフォンの関数電卓アプリなどを用いて、右のページの表を作ってみよう。大抵のスマートフォンの関数電卓アプリでは有効数字 16 桁の計算ができるので、できる限りくわしく計算してほしい。



例えば $\frac{2^{0.01} - 1}{0.01}$ を計算するには $(2^{0.01} - 1) \times 100$ を計算すればよいので、シンプルな関数電卓（例えば iPhone の電卓アプリ）では次の順序で入力すればよい。

2 x^y . 0 1 = - 1 = × 1 0 0 =

h	$\frac{2^h - 1}{h}$	$\frac{3^h - 1}{h}$
0.1	0.717734625362932...	1.161231740339044...
0.01	0.695555005671881...	1.104669193785359...
0.001	0.693387462580633...	1.099215984204053...
10^{-4}	0.693171203765692...	1.098672638326159...
10^{-5}	0.693149582830565...	1.098618323435013...
10^{-6}	0.693147420786508...	1.098612892142811...
10^{-7}	0.693147204582597...	1.098612349015560...
10^{-8}	0.693147182962210...	1.098612294702855...
10^{-9}	0.693147180800172...	1.098612289271584...
10^{-10}	0.693147180583968...	1.098612288728457...

この表より $\frac{2^h - 1}{h}$, $\frac{3^h - 1}{h}$ はそれぞれある 0 でない一定値に近づく様子が見て取れ、その値は次のように推測できる。

$$m_2 = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{2^h - 1}{h} \doteq \boxed{0.69314718}, \quad m_3 = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{3^h - 1}{h} \doteq \boxed{1.09861228}$$

前ページの結果を見ると $m_2 < 1$ かつ $m_3 > 1$ であることがわかる。したがって、2と3の間に $m_a = 1$ となるような a の値があるだろうと考えられる。実は、 $m_a = 1$ となるような a の値は単純な有理数ではないこと知られているので、そのような数を e という文字で表し、Nepierの数とか、自然対数の底と呼ぶ。すなわち、数 e は次の式をみたすような数である。

$$(4) \quad \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^h - 1}{h} = 1$$

すると(??)から、 $f(x) = e^x$ ならば $f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} e^x \cdot \frac{e^h - 1}{h} = e^x \cdot 1 = e^x$ が得られる。

指数関数の e^x の導関数： $(e^x)' = e^x$

① 指数関数と対数関数の互いには $e^{\log a} = a$ という関係が成り立つ。これより、 $a^x = (e^{\log a})^x = e^{x \log a}$ である。そこで、 $y = e^u$ 、 $u = (\log a)x$ とおいて、合成関数の微分公式を用いて、指数関数 a^x の導関数 $(a^x)'$ をもとめよ。[ヒント： $\log a$ は定数であることに注意。]

$$\frac{dy}{dx} = \frac{dy}{du} \cdot \frac{du}{dx} = e^u \cdot (\log a) = e^{x \log a} (\log a) = a^x \log a$$

② $f(x) = e^x$ とすると、自然対数関数 $\log x$ はその逆関数である。すなわち $f^{-1}(x) = \log x$ である。そこで、 $f'(x) = e^x$ であることと、逆関数の微分公式を用い、 $f^{-1}(x) = \log x$ の導関数が $\frac{1}{x}$ であること、すなわち $(\log x)' = \frac{1}{x}$ であることを示せ。

$$(\log x)' = (f^{-1}(x))' = \frac{1}{f'(f^{-1}(x))} = \frac{1}{f'(\log x)} = \frac{1}{e^{\log x}} = \frac{1}{x}$$

③ 前問によれば、 $f(x) = \log x$ としたとき、 $f'(1) = \frac{1}{1} = 1$ となることがわかる。一方、

$$f'(1) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\log(1+h) - \log 1}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \left(\frac{1}{h} \log(1+h) \right) = \lim_{h \rightarrow 0} \left(\log(1+h)^{\frac{1}{h}} \right) = \log \left(\lim_{h \rightarrow 0} (1+h)^{\frac{1}{h}} \right)$$

である。(最後の等号は \log が連続関数なので \log と \lim の順序が入れ替えらることによる。) よって、

$$f'(1) = \log \left(\lim_{h \rightarrow 0} (1+h)^{\frac{1}{h}} \right) = 1$$

となり、 $\lim_{h \rightarrow 0} (1+h)^{\frac{1}{h}}$ は \log をとると1になるような値、すなわち、

$$\lim_{h \rightarrow 0} (1+h)^{\frac{1}{h}} = e$$

となる。そこで、次の表を用い $(1+h)^{\frac{1}{h}}$ の値を計算してみよう。 $h = 1, 0.1, 0.01, 0.001, \dots, 10^{-9}$ として関数電卓を用いて $(1+h)^{\frac{1}{h}}$ を計算し、表の空欄を埋め、極限值 $\lim_{h \rightarrow 0} (1+h)^{\frac{1}{h}}$ の値を推測せよ。

h	$(1+h)^{\frac{1}{h}}$
0.1	2.5937424601
0.01	2.70481382941526...
0.001	2.71692393223589.....
10^{-4}	2.71814592682522...
10^{-5}	2.71826823717449...
10^{-6}	2.71828046931938...
10^{-7}	2.71828169254497...
10^{-8}	2.71828181486764...
10^{-9}	2.71828182709990...
↓	↓
0	2.7182818...

これより、 $e = 2.7182818\dots$ と推測される。